

このまち
津市で輝く

Vol.85



先代と津市への孝行が
わたしの使命

津市を舞台とした親孝行な子の悲しい伝説として伝わる『阿漕平治』。話の中に出てくる阿漕浦の近くにある育生小学校の児童と保護者等が、阿漕平治の話の歌にして、毎年発表会を行っている。

昨年11月、20回目となる発表会に平治煎餅本店4代目社長の伊藤さんも招かれた。子どもたちの歌う姿から伝説を語り継いでいく熱い思いを感じ、心が震えたという。12月、子どもたちに対する敬意として、給食に平治煎餅を贈った。

大正2年、津市大門で生まれたこの煎餅は、主人公の平治がかぶっていた笠がモチーフとなっている。創業当時に作られた手彫りの木型を元にした金型を使い、時代に合わせて砂糖、小麦粉、鶏卵の配合を変える煎餅は、5人の職人によって多い日には4万枚も焼かれる。「伝統を守りながら、より良く変えていく。今、最もおいしいものを作ることが、先代への孝行です」

そして、煎餅を通じて阿漕平治の語り部であり続けることが、愛する津市への孝行だと語る。「子どもたちの熱い思いに負けてはいられません。夢は阿漕平治の絵本を作ること、そして阿漕平治に関連する資料などを集めて、多くの人に見てもらおうことです」と少年のように目を輝かせた。

若き語り部に
負けてはいられない

老舗和菓子店4代目
伊藤 博康 (56)

Hiroyasu Ito

PROFILE

1967年津市生まれ。東京の流通系企業に勤務後、1994年「有限会社平治煎餅本店」に入社。2001年、代表取締役社長に就任。仕事終わりに市内の行きつけのお店で食事することが至福の時間。

阿漕平治の
伝説はこちら



広告掲載欄

広報つ!

毎月1日・16日発行

- 編集・発行
津市政策財務部広報課
〒514-8611
西丸之内23-1
☎059-229-3111
FAX 059-229-3339
- 印刷
三宅印刷株式会社